

平成25年度

岡山県立博物館協議会

第1回 開催要項

1 開会

2 議題

(1) 平成25年度事業について

- ア 展覧会
- イ 教育普及事業
- ウ 入館状況

(2) 平成26年度事業（案）について

- ア 展覧会

(3) 長期展覧会計画（案）について

(4) 中期目標の達成状況について（平成24年度）

(5) その他

- ・来館者アンケート結果
- ・協議会意見等への対応状況

3 閉会

日 時：平成25年8月30日(水) 14:30~16:00

会 場：岡山県立博物館 「講堂」

平成25年度事業計画

ア 年間展示計画の概要

平成25年7月現在

	第1室 (考古)	第2室 (古代・中世)	第3室 (近世・民俗)	第4室 (備前焼・刀剣)
(3/26)～4/14 春季展(2) 6+12日	古代吉備の世界－考古資料－ 分銅形土製品	平安時代の仏像 中世の寺社と信仰 中世の役所と古文書 吉備津彦神社の古文書	☆《特別陳列》ひな人形 近世の絵画～咲き誇る花の絵～	よみがえった備前刀 備前焼名品選 茶陶の美
4/19～5/19 特別展(1) 春季展(3) 31日	栄西禪師800回忌記念事業 栄西		五月人形 後楽園の名品	よみがえった備前刀 備前焼名品選 茶陶の美
5/24～6/23 夏季展(1) 31日	古代吉備の世界－考古資料－ 陶質土器と初期須恵器	岡山の仏教美術 岡山の戦国時代～備中高松城の水攻め～	☆《特別陳列》 売薬の祖 万代常閑家資料 岡山藩の幕末	日本刀名品選 備前焼 つぼ・かめ・すりばち
6/25～7/21 夏季展(2) 27日	古代吉備の世界－考古資料－ 陶質土器と初期須恵器	岡山の仏教美術 岡山の戦国時代～毛利氏～ 海中の古備前 中世の商品流通	☆《特別陳列》 売薬の祖 万代常閑家資料 岡山藩の幕末	日本刀名品選 備前焼 つぼ・かめ・すりばち
7/25～9/1 企画展(1) 夏季展(3) 39日	古代吉備の世界－考古資料－ 美作の原始古代	美作国建国1300年記念事業 美作の名宝	子育ての道具 岡山の四条派画壇 江戸時代の絵画	備前・備中・美作の刀剣 備前焼 つぼ・かめ・すりばち
9/5～10/6 秋季展(1) 32日	古代吉備の世界－考古資料－ ☆《特別陳列》大地からのたより2013 一県内の発掘調査報告展 ※9/7報告会	岡山の仏像・岡山の宗教家～法然 岡山 の戦国時代～浦上氏～ 海中の古備前 木簡	子育ての道具 江戸時代の絵画	備前・備中・美作の刀剣 備前焼の名品
10/11～11/17 特別展(2) 秋季展(2) 38日	郷原漆器復興25周年・備中漆復興20周年記念事業 瀬戸内国際芸術祭2013関連事業 おかやま教育の日協賛事業 「Japan-漆の世界-」			
11/22～12/23 冬季展(1) 28日	古代吉備の世界－考古資料－	岡山の仏像 中世商品流通の拡大 海中の古備前	大名の書画 ☆《特別陳列》おかやま人物辞典 平賀元兼 絵馬	神に捧げられた刀剣 備前焼の名品
1/1～2/16 交流展 冬季展(2) ※会期中展示替え(1/20) 41日	古代吉備の世界－考古資料－	岡山・高知文化交流事業 土佐の水とくらし－四万十川の瀧を中心に－	古文書から見る南北朝時代の岡山 大名の書画 絵馬	神に捧げられた刀剣 ☆《特別陳列》国宝 赤韋成鍔と太刀無銘 －文字「山鳥毛」(1/1～19) 茶陶の美 備前焼 細工物の世界
2/20～3/23 春季展(1) 28日	古代吉備の世界－考古資料－	岡山の仏像 岡山の古刹(備前) 海中の古備前 播鉢と壺	雛人形 旅と巡礼	岡山の新刀・新々刀 ☆特別陳列 備前焼
3/25～4/ 春季展(2) 7+x日	古代吉備の世界－考古資料－	岡山の仏像 岡山の古刹(備中・美作) 海中の古備前 播鉢と壺	雛人形 旅と巡礼	岡山の新刀・新々刀 ☆特別陳列 備前焼

平成25年度事業計画

ア 展覧会

事業名	栄西禅師800回忌記念 特別展 「栄西（ようさい）」
期間	平成25年4月19日（金）～5月19日（日）
趣旨	臨済宗の開祖栄西は、平安時代末に岡山で生まれた。平成26年は、栄西800回忌にあたることから、生地である岡山との関わりや思想の遍歴、栄西をとりまく時代背景について紹介する。 ※山陽新聞社主催「栄西大茶会」の開催(後楽園内)に合わせ、広報活動等連携を図る。
主要展示資料	誓願寺建立縁起《平安時代》〈誓願寺蔵〉(国宝) 銅造観世音菩薩立像《北宋時代》〈大山寺蔵〉(重要文化財)
関連行事等	①連続講座「栄西」 5月11日 「栄西と重源」 5月18日 「栄西と中世の禅宗」 ②ワークショップ 5月3日 「親子で学ぶ喫茶養生記」 ③展示解説
備考	入館料 大人450円、65歳以上220円、高校生100円、小人80円、5歳未満無料(2室使用)

事業名	美作国建国1300年記念 企画展 「美作の名宝」
期間	平成25年7月25日（木）～9月1日（日）
趣旨	美作国建国1300年を記念し、美作地域ゆかりの文化財の優品を公開する。
主要展示資料	絹本着色両界曼荼羅図《南北朝時代》〈長福寺蔵〉(重要文化財) 太刀銘国行《鎌倉時代》〈作楽神社蔵〉(重要文化財)
関連行事等	①記念講演会 「美作国の成立事情」 8月11日 ②展示解説
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料 (1室使用)

事業名	特別展 「Japan-漆の世界-」
期間	平成25年10月11日（金）～11月17日（日）
趣旨	原始・古代から現代に至る岡山と香川の漆芸をテーマに、その歴史と文化を紹介する。
主要展示資料	南方遺跡出土木製品《弥生時代》〈岡山市教育委員会蔵〉 <small>あやすぎししほたんまきえこんれいちょうど</small> 綾杉地獅子牡丹蒔絵婚礼調度《江戸時代》〈林原美術館蔵〉(重要文化財) 郷原漆器の製作用具《近現代》〈真庭市蔵〉〈登録有形民俗文化財〉
関連行事等	①記念講演会 ②漆芸作家による特別解説 ③木地師による実演 ④親子向け漆芸工作教室 ⑤展示解説 ※岡山県郷土文化財団、備中うるし利活用協議会との共催により実施
備考	入館料 大人650円、65歳以上320円、高校生200円、小人180円、5歳未満無料 (4室使用)

事業名	交流展 岡山・高知文化交流事業「土佐の水とくらし ー四万十川の漁を中心にー」
期間	平成26年1月1日(水・祝)～2月16日(日)
趣旨	岡山・高知の両県に伝わる考古・歴史・民俗・美術等の文化財を貸借・展示し、歴史や文化を相互に紹介する。2年目は、四万十川の漁労などの民俗文化を中心として紹介する。
主要展示資料	土佐典具帖紙《昭和時代》(いの町紙の博物館蔵)(国指定重要無形文化財) 土佐職人絵歌合《江戸時代》<高知市民図書館蔵> 水中銃《現代》<高知県立歴史民俗資料館蔵>
関連行事等	①記念講演会「南国土佐の歴史と民俗」 ②紙漉の体験 ③ボランティアによる展示ガイド ④展示解説
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料(1室使用)

イ 教育普及事業

事業名	「吉備の国文化遺産映像記録作成事業」<H24～H26>
期間	平成25年4月～平成26年3月
概要等	小・中学校の補助教材としてテーマ別に岡山の歴史や文化を概観することができるとともに、来館者が本県の歴史や文化に対する理解を深められるような映像資料を年次計画で作成する。 <年次計画と主なテーマ(案)> ※3年間で30テーマを作成 H24 ①ー閑谷学校ー日本最古の庶民の学校 ②日本のたから・赤韋威鎧 ③備前刀 他 H25 ①い草の芸術 ②児島湾と新田開発 他 H26 ①岡山の巨大古墳 ②古代の山城ー鬼ノ城ー ③朝鮮通信使と牛窓 他 <成果物> 3月下旬に公開予定 3分程度のチャプター構成とし、館内モニターでの放映及びHPから閲覧可能な形式とする。

事業名	新規事業 「ジュニア学芸員事業」
期間	平成25年8月6日(火)～8日(木)
概要等	県内の中学生及び高校生が、館内で資料や機器の取り扱い等、学芸員の基礎的な業務を学び体験し、発掘現場でも実地体験をすることなどで、岡山の歴史と文化に関する理解を深めるとともに、将来的に学芸業務を仕事の選択肢としても考える機会を提供する。(3日間開講) ◇夏期休業中の3日間、講義・実務・研修を通じ認定証(館長名)を発行する。 1日目 開講式、マナー学習、博物館学の研修等<軸物資料の巻き方、刀剣の扱い方等> 2日目 他館・現地等訪問 <発掘現場での実地体験、他館での資料借用等> 3日目 展示の演習、来館者への対応、機器の取扱い(資料の写真撮影)等、閉校式<認定証> ※参加者 高校生14名 中学生5名 計19名

事業名	館内授業・出前授業
期間	平成25年4月～平成26年3月
概要等	県内の小中高校生等が、館内で実際に資料に触れたり、展示を見学する。また、学芸員が学校や古墳等の史跡へ出向き授業を行う。 ①歴史:吉備の古墳の世界 ②民俗:体験!昔のくらし ③工芸:備前焼を知ろう 等

事業名	吉備の国ジュニア歴史スクール
期間	平成25年5月～12月
概要等	県内の歴史と文化に関わる小学生向けテーマを設定し、第1日は、バスで文化財の現地見学を行い、第2日は、県立博物館での実物資料を用いた授業や展示室等の見学などにより、文化財や博物館に親しむ機会を提供する。第3日は、各学校で学習の成果をまとめ博物館と学校との連携を図る。 「横仙歌舞伎体験コース」:瀬戸内市立今城小学校6年生 31名 「備中神楽体験コース」:美咲町立加美小学校、美咲中央小学校5年生 55名

事業名	博物館講座
期間	平成25年6月～10月
概要等	当館職員が講師となり学習する「スタンダードコース」と、第一線で活躍している研究者の講義により学習する「スペシャルコース」の2講座を実施する。(生涯学習大学連携講座) ①スタンダードコース 4日間8講座(1日2講座、1講座2時間、火曜日・木曜日) 定員 各曜日70名、受講料1,000円 ※受講者数 130名 内容:郷原漆器と備中漆、岡山藩の幕末、栄西の信仰と美術、中国山地の産業史他 ②スペシャルコース 4日間4講座(1講座2時間)、定員 120名、受講料2,000円 内容:行列に見る近世、考古学から見た岡山平野の環境史他 ※受講者数 108名

事業名	中学生職場体験
期間	平成25年10月～11月
概要等	中学2年生を対象にした職場体験の受け入れ ・学芸業務や受付・看視等の仕事を体験

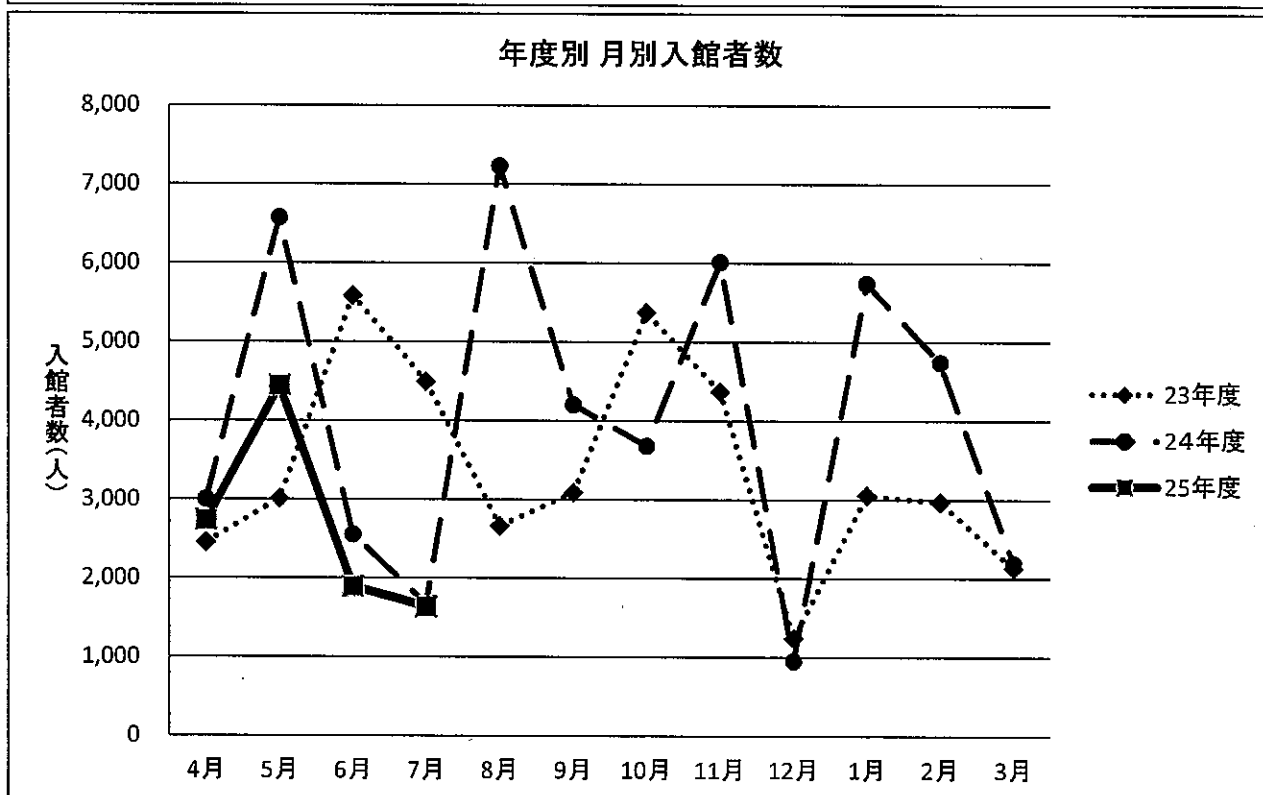
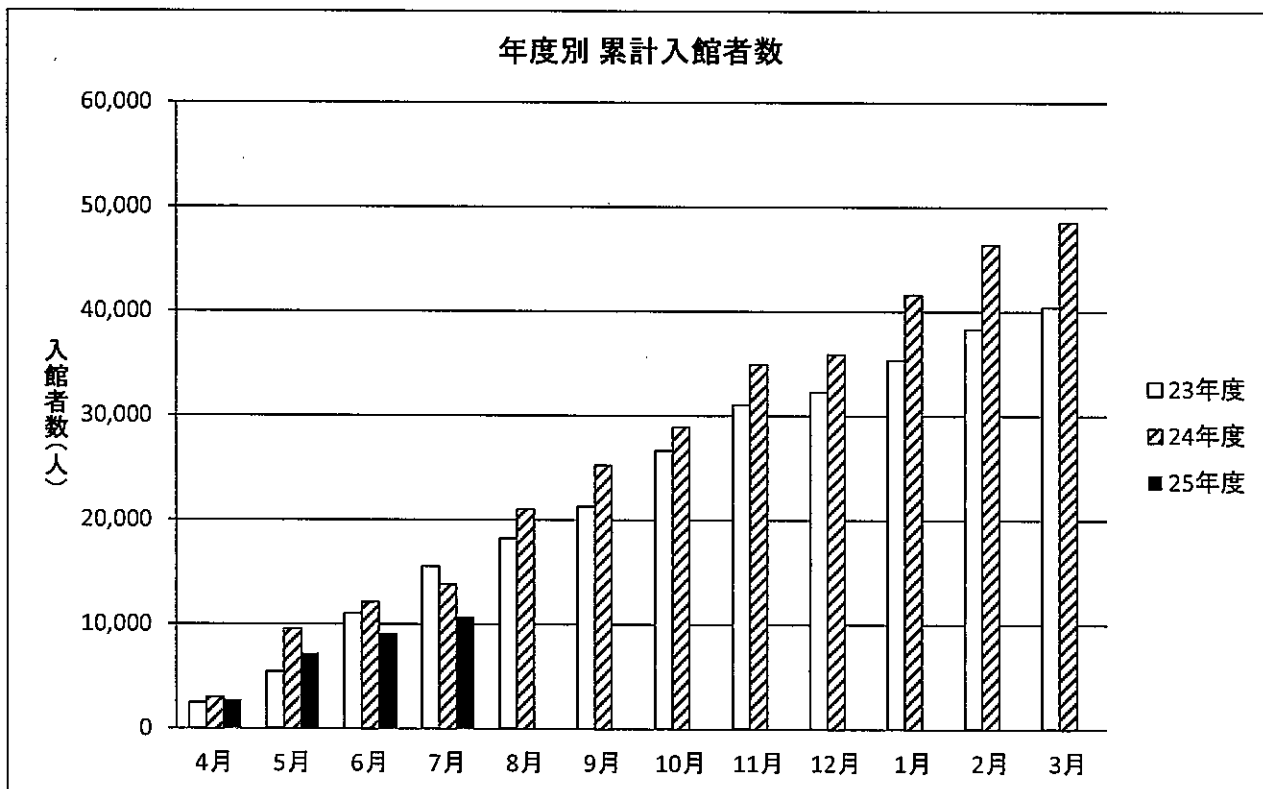
事業名	博物館実習
期間	平成25年8月20日、21日、22日、10月27日、11月3日
概要等	博物館法に規定する学芸員資格の習得を希望する学生に対して、博物館において実習の機会を提供し、人材育成に資するとともに博物館活動の普及を図る。 ①講義実習(3日間) 学芸員の使命と実務、考古・文書・工芸資料等の特性と取扱い 等 ②支援実習(2日間) japan-漆の世界-記念講演会、子供漆芸体験教室 ③実習受講者数 15名

ウ 入館状況

月別入館者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	7月末現在
23年度	2,455	3,011	5,584	4,496	2,664	3,090	5,373	4,371	1,241	3,057	2,971	2,137	40,450	15,546
24年度	3,005	6,577	2,555	1,671	7,234	4,203	3,684	6,018	955	5,746	4,742	2,194	48,584	13,808
25年度	2,737	4,444	1,898	1,639									10,718	10,718



平成26年度 事業計画 (案)

1 年間展示計画の概要

検討中

	第1室 (考古)	第2室 (古代・中世)	第3室 (近世・民俗)	第4室 (備前焼・刀剣)
(3/25)～4/20 春季展(2) 27日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山の仏像 岡山の古刹(備中・美作) 海中の古備前(播磨と豊)	旅と巡礼 近代科学を開いた人々 雛人形	よみがえった備前刀 ＜特別陳列＞備前焼
4/22～5/18 春季展(3) 27日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山の仏像 岡山の宗教家～重源と栄西 中世流通の発達 足利将軍の古文書	＜特別陳列＞近代科学を開いた人々 はこぶ	備前刀名品選 備前焼
5/23～6/29 特別展(1) 38日	山田方谷			
7/4～8/3 夏季展(1) 31日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山の仏像 木簡 岡山の荘園 海中の古備前 武将の古文書	江戸時代のお金 岡山藩主の書画 雛型	備前・備中・備後の刀剣 ＜特別陳列＞つば・かめ・すりばち-備前焼-
8/7～9/7 企画展・夏季展(2) 32日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山の仏像 木簡 岡山の荘園 海中の古備前 武将の古文書	戦国の城 -岡山の中世山城-	備前・備中・備後の刀剣 徳利・とっくり・トックリ-備前焼-
9/11～10/5 秋季展(1) 25日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-H24 ☆＜特別陳列＞大地からの便り	岡山の仏教美術 神と仏 社寺の古文書	岡山の絵図・古地図 洛中洛外園屏風 ＜特別陳列＞錦兜莖	備前・備中・備後の刀剣 徳利・とっくり・トックリ-備前
10/10～11/16 特別展・(2)秋季展(2) 38日	池田綱政300回忌記念 護国山曹源寺		後楽園の名品 錦兜莖	神に捧げられた刀剣 茶道具-備前焼-
11/21～12/24 冬季展(1) 34日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山の仏教美術 岡山の宗教家～法然と浄土信仰 中世流通の発達 赤松氏と備前	文人の書画 江戸時代の絵画 年越しと年迎え	神に捧げられた刀剣 細工物-備前焼- ＜特別陳列＞幕末・明治の超絶技巧 正阿弥勝義と逸見東洋
1/1～2/1 交流展・冬季展(2) 32日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山・高知文化交流事業・巡回展 戦国大名 宇喜多氏と長宗我部氏	画人・黒田稜山とその周辺 十二支屏風 年越しと年迎え	岡山の新刀・新々刀 ＜特別陳列＞赤韋威鎧 細工物-備前焼-
2/5～3/8 春季展(1) 32日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山の仏教美術 ＜特別陳列＞ 安養寺の歴史と文化財 岡山の戦国武将 備前の武将	会陽 岡山の城下町 雛人形	岡山の新刀・新々刀 岡山のやきもの
3/10～4/ 春季展(2) 22日	古代吉備の世界 -岡山県内出土の考古資料-	岡山の仏教美術 安養寺の歴史と文化財 岡山の戦国武将 海中の古備前	桃山絵画の成立 岡山の城下町 岡山藩の兵法 ＜特別陳列＞雛人形	よみがえった備前刀 岡山のやきもの

平成26年度事業計画〈案〉

ア 展覧会

事業名	特別展 「山田方谷」(仮題)
期間	平成26年5月23日(金)～6月29日(日)
趣旨	<p>山田方谷は、文化2（1805）年に、備中松山藩領西方村（現高梁市中井町）で生まれ、新見藩儒丸川松隠に学び、松山藩校筆頭に任じられた。その後、松山藩政にも参画し、悪化していた藩財政を立て直した。陽明学も修め、明治維新後は、岡山藩の学校である閑谷学校を、陽明学を基軸に据えた閑谷精舎として再興した。</p> <p>「教育県岡山の復活」が求められる現在、幕末から明治に移行する中で、岡山県の教育を支えていった山田方谷の生き方にスポットをあてる。方谷に関連する資料から、思想や生き方、方谷をとりまく時代背景や親交のあった佐久間象山や河井継之助、三島中洲などの人々を紹介する。</p>
主要展示資料	<p>山田方谷書状（三島中州宛） 江戸時代 二松学舎大学蔵</p> <p>佐藤一斎肖像 江戸時代 東京国立博物館蔵（重要文化財）</p> <p>「資治通鑑」（備中松山藩校有終館蔵書） 江戸時代 高梁市蔵（県指定重要文化財）</p>
関連行事等	<p>①特別講座「山田方谷」</p> <p>第1回 6月1日 「山田方谷と河井継之助(仮題)」</p> <p>第2回 6月15日 「教育者 山田方谷～教育県岡山のプロローグ～(仮題)」</p> <p>②展示解説</p>
備考	入館料 大人650円、65歳以上320円、高校生200円、小人180円、5歳未満無料(4室使用)

事業名	企画展 「戦国の城－岡山の中世山城－」
期間	平成26年8月7日(木)～9月7日(日)
趣旨	<p>県内の主要な城跡を取り上げ、最新の発掘調査や歴史研究の成果とともに、関連する武将や合戦についての歴史資料を展示し、地域の歴史を物語る貴重な文化財である城の魅力を紹介する。</p>
主要展示資料	<p>岡山城跡出土品 安土桃山時代 岡山市教育委員会蔵</p> <p>紅糸素懸威銀箔押二枚胴具足 安土桃山時代 大賀島寺蔵（重要文化財）</p> <p>清水宗治等連署書状 室町時代 吉備津神社蔵</p>
関連行事等	<p>①記念講演会</p> <p>②「再発見！ふるさとの山城－岡山県中世城館跡総合調査－」報告会 講 師：岡山県古代吉備文化財センター職員</p> <p>③「歴史体験★本物の兜や火縄銃にふれてみよう！」</p> <p>④展示解説</p>
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料（1室使用）

事業名	池田綱政300回忌記念事業 特別展 「護国山曹源寺」		
期間	平成26年10月10日(金)～11月16日(日)		
趣旨	岡山市中区円山に所在する曹源寺(山号:護国山)は、岡山藩主池田綱政が曾祖父池田恒興と父、池田光政の冥福を祈るため、池田氏の菩提寺として元禄11(1698)年に建立した。曹源寺には歴代藩主の直筆の写経や和歌、絵画や書跡・典籍など膨大な文化財が所蔵されている。 平成26年は曹源寺を建立した池田綱政の300回忌にあたることから、曹源寺の寺宝を一堂に集め、その歴史や池田氏との関わりを紹介する。		
主要展示資料	開山国師関山慧玄頂相	享保12(1732)年以前	曹源寺蔵
	護国山曹源寺境内図	宝永5(1708)年	曹源寺蔵(市指定重要文化財)
	十六羅漢木像	江戸時代前期	曹源寺蔵
	池田家藩主肖像彫刻(全6躯)	江戸時代	曹源寺蔵(市指定重要文化財)
関連行事等	①特別講座「曹源寺」 第1回 10月19日「禅の心(仮題)」、第2回 10月26日「岡山藩主池田綱政と曹源寺(仮題)」 第3回 11月2日「近世の仏教美術と曹源寺(仮題)」 ②ウォークラリー『曹源寺の文化財を訪ねる(仮)』 11月9日 ③展示解説 ※実行委員会形式で実施		
備考	入館料 大人450円、65歳以上220円、高校生100円、小人80円、5歳未満無料(2室使用)		

事業名	交流展 岡山・高知文化交流事業「戦国大名 宇喜多氏と長宗我部氏」(仮題)		
期間	平成26年1月1日(水・祝)～2月16日(日)		
趣旨	高知・岡山の両県に伝わる考古・歴史・民俗・美術等の文化財を貸借・展示し、歴史や文化を相互に紹介する。最終年は、四国統一を成し遂げた長宗我部氏と備前の宇喜多氏を取りあげる。それぞれの地域で強大な戦国大名となり、豊臣政権を経て関ヶ原の戦いで勢力を失う両者を比較し、またその接点を紹介する。		
主要展示資料	絹本著色長宗我部元親像	安土桃山時代	高知市 秦神社蔵(重要文化財)
	長宗我部元親坐像	安土桃山時代	高知市 秦神社蔵(県指定重要文化財)
	宇喜多能家画像	室町時代	岡山県立博物館蔵(重要文化財)
	紅糸素懸威銀箔押二枚胴具足	室町時代	瀬戸内市 大賀島寺蔵(県指定重要文化財)
関連行事等	①記念講演会 1月17日 ②ワークショップ「よろいとかぶとをつくってみよう!」1月10日 ③武将になろう(よろい体験) ④ボランティアによる展示ガイド 1月11日, 25日, 2月1日 ⑤展示解説		
備考	入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料(1室使用)		

長期展覧会計画(案)

企画展

特別展

交流展

交流展(他会場)

2室

4室

26	2014	戦国の城 -岡山の中世山城-		池田綱政300回忌記念事業 護国山曹源寺	山田方谷	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 高知の歴史と文化Ⅲ(共同企画) 戦国大名 宇喜多氏と長宗我部氏	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 共同企画 戦国大名 宇喜多氏と長宗我部氏
27	2015	経王山本蓮寺	発掘された日本列島	備前焼	祈る -吉備のまつり-	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 鳥取の歴史と文化Ⅰ 「鳥取藩池田家32万石」	
28	2016	織りの技と美 -小倉織・綿・絹-	照光山安養寺	吉備の古墳	吉備の群像	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 鳥取の歴史と文化Ⅱ 「古代伯耆・因幡の世界」	(岡山の歴史と文化) 〔「備前焼・備前刀」〕
29	2017	ほとけのひみつ	岡山の絵馬	銘金山金山寺	真金吹く吉備 -鉄(くろがね)の美-	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 鳥取の歴史と文化Ⅲ 「鳥取藩の絵師」	「池田光政 鳥取開府400年」
30	2018	岡山の地理学者 -古松軒と浅五郎-	岡山の鉄道	境界と領域 藩・国・郡・村の意識	桃山の美	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 徳島の歴史と文化Ⅰ)	(中四国博物館ネットワーク構築事業) 岡山の歴史と文化Ⅰ)

中期目標の達成状況評価

- (1) 評価の時期 翌年度初めに実施
 (2) 評価者 館全体で評価
 (3) 評価区分 次の1～5段階で実施

評価区分	内 容
5	目標水準を大きく上回った。 140%以上
4	目標水準を上回った。 110%以上 140%未満
3	概ね目標水準である。 90%以上 110%未満
2	目標水準を下回った。 60%以上 90%未満
1	目標水準を大きく下回った。 60%未満

(4) 結果の公表

評価結果は、「岡山県立博物館協議会」において報告するとともに、ホームページで公表します。

<参考> 博物館法第9条

博物館は、当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

平成24年度の評価

項 目	H21	H22	H23	H24	H25
1 資料の収集と保存・活用	3	3	2	2	
2 調 査 ・ 研 究	3	3	2	3	
3 施 設 の 整 備 ・ 管 理	3	2	2	3	
4 展 示	3	2	2	3	
5 教育普及・学校教育との連携	3	3	3	4	
6 県民参加の協働運営	3	3	3	3	
7 組 織 ・ 人 員	2	2	2	3	
総 合 評 価	3	3	2	3	

■資料の収集と保存・活用 H23：2 → H24：2

- ・昨年同様、厳しい財政状況下では新規購入は難しく、また、資料の修復についても予算上の制約があり目標を下回った。

■展 示 H23：2 → H24：3

- ・特別展、企画展、交流展において、親しみやすい企画で大幅に入館者が増加した。

評価結果を踏まえた今後の課題と施策への反映

- 1 厳しい財政状況の下で、魅力的な資料を収集するために、寄贈・寄託制度の有効な活用を図る。
- 2 ホームページへのアクセスを増加するため、情報内容の充実や鮮度を高めるとともに、注目度の高い独自コンテンツの提供に努める。

評価シート

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成24年度 実施結果	評 価
1 資料の 収集と保 存・活用	資料の購入	資料の購入件数	5点/年	0点/年	1
	寄付資料の受け入れ	新規寄付資料の受け 入れ件数	30件/年	10件/年	1
	寄託資料の受け入れ	新規寄託資料の受け 入れ件数	30件/年	11件/年	1
	資料の適切な保管	収蔵庫等の定期点検 回数	12回/年	13回/年	3
	展示室の資料保存環境 の点検	展示室等の定期点検 回数	50回/年	49回/年 水替え	3
	収蔵スペース確保の検 討	収蔵スペース確保の 検討 整理・整頓	随 時	随 時	3
			4回/年	4回/年	
	収蔵品の補修	収蔵資料の修復点数	5点/年	2点/年	1
	資料の活用	収蔵資料展示点数	1,000件/年	925件/年	3
		特別観覧利用件数	100件/年	122件/年	4
規程の整備		平成21年度中 に整備	・特別観覧規程 ・貸出規程 H21 整備済	—	
平均評価					2
2 調査研 究	調査研究活動の強化	各学芸員の調査テー マの設定	6件/年 (各学芸員1テーマ)	6件/年 (各学芸員1テーマ)	3
	調査研究成果の公表	研究報告の発刊	1回/年	1回/年	3
		年報の発刊	1回/年	1回/年	3
		博物館だよりの発刊	1回/年	1回/年	3
		平常展、企画展、特別 展の開催	12回/年	12回/年	3

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成24年度 実 施 結 果	評 価	
	調査研究成果の公表	博物館講座の開催	6回/年	7回/年	4	
	外部研究機関等との連携	共同研究テーマ数	2件/年	0件/年	1	
平均評価					3	
3 施設の 整備・管理	UD化推進事業	エレベータ設置 玄関自動扉設置 点字ブロック敷設		(H20年度)	—	
		来館者用トイレ改修		(H21年度)	—	
		階段手すり改修 受付カウンター改修 休憩室整備 案内表示板設置		(H22年度)	—	
	安全な施設の維持管理	施設改善5カ年計画 の策定	緊急性の高い事 案から着手	7バス撤去 H21 展示室内クロス 貼り替え H21 排水管改修 H23	— — —	
		耐震化への取組		なし	1	
	危機管理体制	来館者事故数		0件/年	0件/年	3
		防災訓練の実施	年2回開催		12月13日 1月25日	3
		安全衛生会議の開催	年3回開催		7月4日 9月2日 11月3日実施	3
		危機管理マニュアルの作成	国等の検討状況 を踏まえて対応		25年3月作成 全職員に配布	3
	利用環境の向上	入館者の満足度		90%以上	81%	3
平均評価					3	
4 展 示	特 別 展	入館者数 実施回数 中期計画策定	18千人/年 2回/年 5カ年計画策定	19,237人/年 2回/年 5カ年計画策定	3	

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成24年度 実施結果	評 価
	企 画 展	入館者数 実施回数 中期計画策定	7千人/年 1回/年 5カ年計画策定	8,676人/年 1回/年 5カ年計画策定	4
	交 流 展	入館者数 実施回数 中期計画策定	7千人/年 1回/年 5カ年計画策定	9,655人/年 1回/年 5カ年計画策定	4
	平 常 展	入館者数 特別陳列	18千人/年 1回/各季節展	11,016人/年 1回/各季節展	2
	各展共通項目	関 連 事 業 の 充 実	記念講演会 実演等 展示解説	1回以上/1展覧会 2.5回以上/1展覧会 3回以上/1展覧会	1.5回/1展覧会 1.8回/1展覧会 2.8回/1展覧会
展 示 方 法 の 改 善		キャプション 解説シート 外国語表記 (英語・中国語・韓国 語) (名称等・キャプション、解 説シート、展示ガイド、要覧)	改 善 30枚 英語・中国語・ 韓国語表記 名称等 1,900件 キャプション 200件 解説シート 24枚 展示ガイド 2冊 要覧 1冊	書体表記の統一 年号表記の統一 整備済 24枚 (過去実績24枚+0枚) 英語・中国語・ 韓国語表記 済 名称等 1,946件 キャプション 254件 (過去実績254+0枚) 解説シート 24枚 展示ガイド 2冊 要覧 1冊	- 1 - 1 -
平均評価					3
5 教育普 及・学校教 育との連 携	吉備の国ジュニア歴史 スクール	実施コース数 参加児童数	2コ-3日/年 120人/年	2コ-3日/年 148人/年	4
	博物館講座 ①スタンダードコース	開設講座数 参加受講者数	8講座(2班)/年 140人/年	8講座(2班)/年 110人/年	2
	博物館講座 ②スペシャルコース	開設講座数 参加受講者数	4講座/年 120人/年	4講座/年 77人/年	2
	体験学習 ①わくわく歴史体験ゾ ーン	参加体験型資料の充 実	10点	23点 (過去実績23+0点)	5

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成24年度 実 施 結 果	評 価
	体験学習	参加児童数			
	②よろいと小袖を着て みよう	① よろい ② 小袖	10人/年 10人/年	13人/年 20人/年	4 5
	館内授業	実施学校数	50校/年	50校/年	3
		受講児童生徒数	2,500人/年	2,413人/年	3
	出前授業	実施学校数	20校/年	29校/年	5
		受講児童生徒数	1,000人/年	1,961人/年	5
	歴史探検ツアー	実施コース	1コース/年	3コース/年	5
		参加児童生徒数	40人/年	195人/年	5
	展示解説	聴講者数	30人/1解説日	38人/1解説日	4
	博物館実習	受け入れ学生数 実施要項の策定	20人/年 平成21年度ま でに策定	10人/年 H23 実施要項 改定	1
中学生職場体験	受け入れ学校数	5校/年	7校/年	5	
教職員研修	連携事業の実施回数	3回/年	3回/年	3	
吉備の国文化遺産映像 記録作成事業	作成テーマ数	10テーマ/年	10テーマ/年	3	
平均評価					4
6 県民参 加の協働 運営	広報活動	記者クラブへの資料 提供件数	30件/年	19件/年	2
		マスコミ取材件数 (新聞への掲載)	70件/年	143件/年	5
		広報手段の新規開拓	1件/年	1件/年	3
	アンケートの実施	アンケートの回収率	15%/年	10%/年	2
	ホームページの充実	HPアクセス数	600,000件/年	119,926件/年	1
		内容の更新頻度	月1回以上	月1回以上	3
	岡山県立博物館友の会	友の会会員数	400人/年	373人/年	3

目 標 項 目		評 価 指 標	中 期 目 標 値 (平成25年度)	平成24年度 実 施 結 果	評 価
		会員の継続率	前年会員の90.0%	前年会員の84.2%	3
		友の会事業実施回数	20回以上	54回	5
		特別展等観覧者率	4.0%	2.0%	1
	ボランティア受け入れ	展示解説ボランティア	6回/年	9回/年	5
			20人以上/年	18人/年	3
		支援ボランティア	5回/年 20人以上/年	12回/年 23人/年	5 4
	地域社会と協働の展覧会の開催	共催団体数	1展覧会3団体以上	1展覧会1団体	1
		連携博物館数	1博物館/年	2博物館/年	5
	博物館協議会	協議会開催回数	2回/年	2回/年	3
		評価システムの検討	平成21年度中に実施	平成22年度第1回協議会で実施	-
老人福祉施設等との連携	連携施設数	2施設/年	2施設/年	3	
平均評価					3
7 組織・人員	学芸員の資質向上	研修会への参加人数	10人/年	10人/年	3
平均評価					3
総合評価					3

平成24年度 アンケート集計結果

◆アンケート回収率

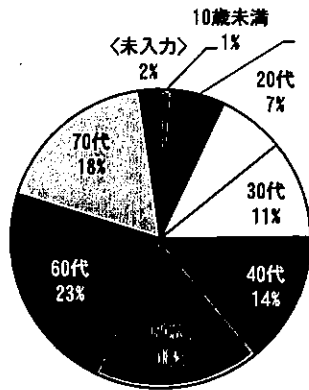
展示名	会期	入館者数	アンケート数	回収率
春季展Ⅰ	4/1~4/22	1,726	486	28.2%
企画展「戦国サムライアート変わり兜」	4/26~6/3	8,676	578	6.7%
夏季展	6/7~7/29	3,406	257	7.5%
特別展「昭和モノ語りー人々のくらしと岡山ー」	8/3~9/17	10,877	1,110	10.2%
秋季展	9/22~10/14	1,864	161	8.6%
特別展「邪馬台国の時代」	10/19~11/25	8,360	796	9.5%
冬季展	11/30~12/24	993	88	8.9%
交流展「坂本龍馬と幕末の土佐」	1/5~2/11	9,655	1,231	12.7%
春季展Ⅱ	2/15~3/31	3,027	369	12.2%
合計		48,584	5,076	10.4%

◆年齢構成

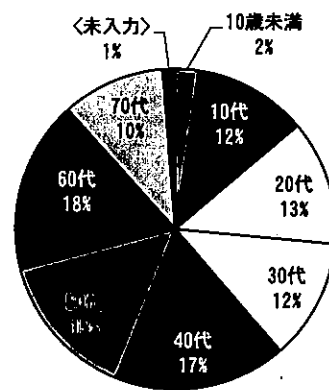
性別	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	<未入力>	性別合計
男性	40	179	225	333	445	573	714	563	72	3,144
女性	44	222	244	236	336	287	337	201	25	1,932
合計	84	401	469	569	781	860	1,051	764	97	5,076

- 10歳未満
- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代
- <未入力>

男性

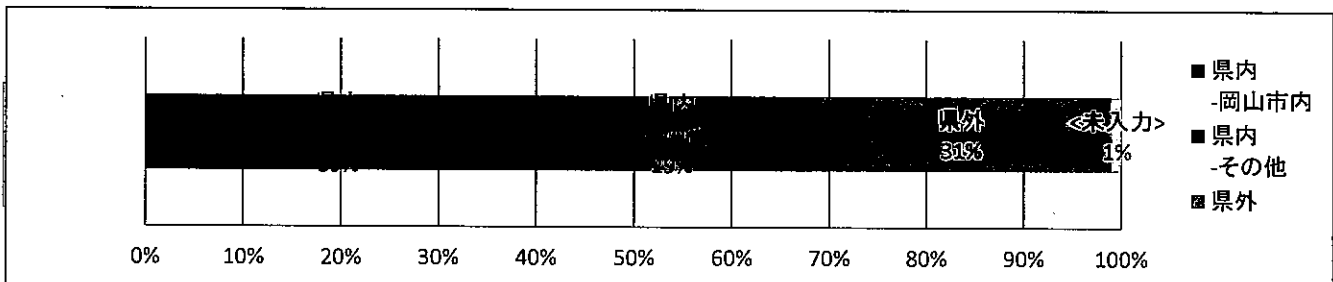


女性



◆住所地一覧

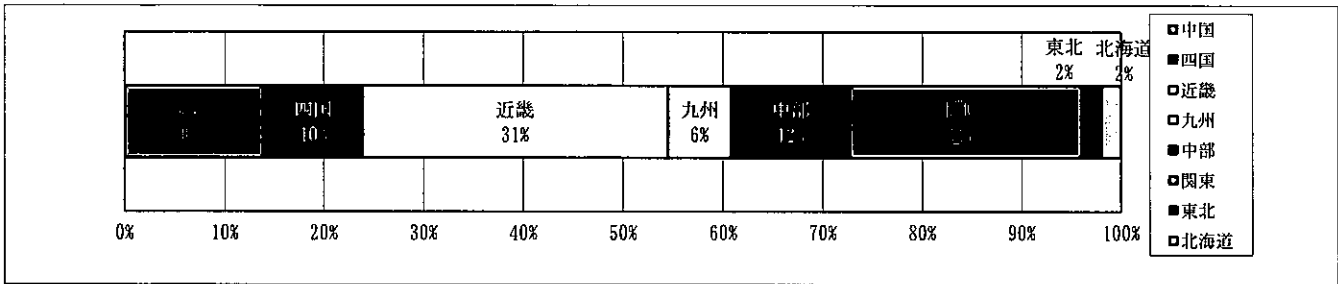
住所地	県内 -岡山市内	県内 -その他	県外・海外	<未入力>	合計
来館者数	2,005	1,454	1,561	56	5,076



◆県外地方別一覧

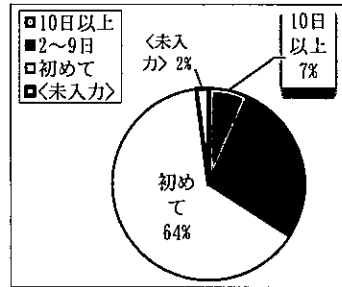
地方	中国	四国	近畿	九州	中部	関東	東北	北海道
来館者数	214	154	471	97	184	359	31	30

1540



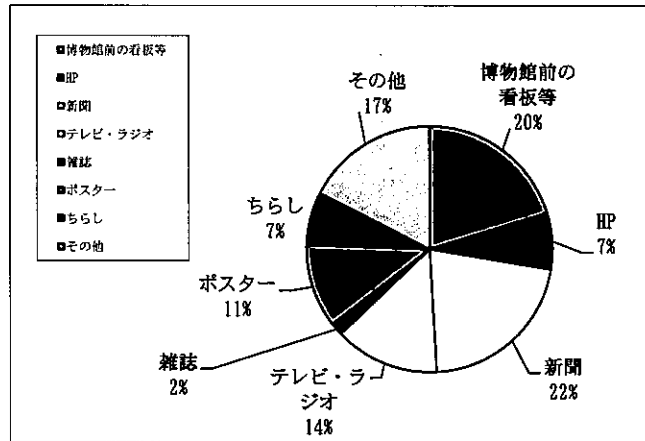
◆最近3年間の当館への来館日数

来館日数	回答数
10日以上	340
2~9日	1,393
初めて	3,242
未入力	101
計	5,076



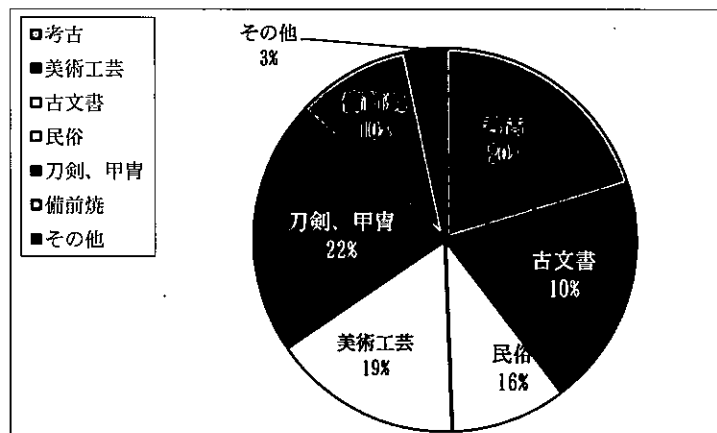
◆この展覧会を何で知ったか

広報媒体	回答数
博物館前の看板等	1,193
HP	435
新聞	1,268
テレビ・ラジオ	811
雑誌	98
ポスター	646
ちらし	411
その他	1,031
計	5,893



◆今後どのような展覧会を希望するか。

希望分野	回答数
考古	1,176
美術工芸	1,122
古文書	567
民俗	931
刀剣・甲冑	1,240
備前焼	572
その他	190
計	5,798



(希望する内容)

希望分野	
考古	<ul style="list-style-type: none">・祭祀具ではなく生活土器を集めた展覧会を観たいです・古墳についての調査に興味がある・最近の古代吉備の情勢が分かる展示をしてほしい・縄文土器をもう少し多く展示しては？・弥生時代前後の人の言葉のコミュニケーション如何、全国の人口・文字の移大(伝播)について<ul style="list-style-type: none">・古代の文字の伝播・吉備古代史と神話とか・東北の縄文・高松塚壁画、藤ノ木複製品・南方遺跡での銅矢じり
美術工芸	<ul style="list-style-type: none">・昔の姫の品物・岡山の木工芸・仏教美術・漆器・伝統工芸の流れ(工程など)・ステンドグラス・備中神楽の面、衣装
古文書	<ul style="list-style-type: none">・災害の資料・戦国時代の絵等・徳川家文書・藩学関連資料・足守木下家の資料・美作地方の古文書を展示してもらいたい・数字に関する物・古文書の現代詩への解読したもの
民俗	<ul style="list-style-type: none">・昔のお金(江戸時代初期～現代)の展示が観たい・古代の、外国の交流についてとか・出来れば戦前の様子がもっと知りたい・看板(ホーロー含む)、地元企業の広告物や商品の特集・昔の料理(道具等)・色々な地域、地方の衣装など・神楽の起源や他地方との比較。中四国などで連携すると良いと思います。
刀剣、甲冑	<ul style="list-style-type: none">・岡山城主歴代の品々が見てみたい・宇喜多秀家の家老だった、キリシタンの明石全登関連のものが観たいです・日本刀に力を入れた展覧会をみたい・新撰組に関するもの・天下五剣の展示
備前焼	<ul style="list-style-type: none">・古備前、現代作家の備前・茶道具・岡山だけのもの、例えば備前焼、虫明焼などのテーマ展がみたい
その他	<ul style="list-style-type: none">・平家物語や源氏物語に沿ったストーリー展示・応神天皇朝及び継体天皇朝に関する真実・種子島の銃・児島高德、岡山県の源平時代の企画展などやってほしい・岡山は教育県と言われました、この教育に関する展示を・鉄道展(歴史的な展示)山陽鉄道から中国鉄道、西大寺鉄道まで※鉄道展意見多数・室町～江戸、明治大正時代の県の産業文化学術、文学などなど、県史全体を知りたい

◆その他、展覧会や施設などについて気づいたことは。

<展示関係>

- ・今回も楽しく観覧させていただきました。文化財に会うことで、元気をいただいたような気持ちになります。いつも感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・学芸員さんの説明がすばらしく時間が足りませんでした。もう少し聞きたかったです。大変勉強になりました。
- ・見学の人が少ない。もったいない。
- ・1つ1つの展示物が印象的でした。
- ・思いつきで入りましたが、後樂園よりおもしろかった。
- ・説明書きの文字を大きくふりがなをふって欲しい。なるべく専門用語はかみくだいて、図をもっと多くして欲しい
- ・風土記の丘に行けということだろうか、県立にしては古代の展示が少ない。他県の博物館に比べて展示内容が劣る。
- ・解説文を前に出してくれれば読みやすいのですが。
- ・展示物に合うような照明を考えて欲しい、照明がダメ 専門家がいないのであろうがもっと勉強しないと人が来て感動する展示会にならない。

<施設関係>

- ・落ち着いた雰囲気 Good。
- ・清潔で申し分ありません。ありがとうございました。
- ・思いがけずももっカードのおかげで無料で入ることが出来ました。ありがとうございました。もっと宣伝すると良いのでは？
- ・部屋(展示室)から次の部屋への移動が判りにくい。特に2階から1階への移動。
- ・駐車場について、身障者や高齢者に対する配慮が全く足りない。県立博物館までの距離が長すぎる。
- ・長時間居ると寒かったです。(冬は寒いという意見他多数)
- ・梅雨時となると外より暑くてゆっくり見ることができない。節電の折りなのに他の美術館は長袖がいるほどエアコンが効いているのにこちらは逆に節電しすぎではないかと思います。他県の知り合いに後樂園は勧めますがこちらはどんなに素晴らしい展示であっても暑すぎてオススメは県立美術館か林原をすすめてしまいそうです。よい展示がもったいない。

<その他>

- ・受付の方、階段ですれ違った方、2Fの受付の方、すべてがていねいにあいさつしていただき、うれしかった。金剛像(右)のいたみ(むしくい)が気になった
- ・今回博物館と後樂園のセットで券を購入したが、お城の3点セットがあればと思います。なぜ中止になっているのか？
- ・子供たちが喜ぶイベントをして欲しい(ベーゴマ遊びとか)
- ・なぜ、万年筆は使用できないのか。
- ・メタルフィギュアをつくりたかった。小学生だけでなく大人も参加できるようにしてほしい。

前回協議会の主な意見への対応状況

委員からの意見・提案

- ◇平常展の入館者増加に向けた取組はどうか。
- ◇何回も足を運んでもらえるようなネタ作りが必要。
- ◇備前焼映像記録は、授業の導入部分などに使いやすい。今後、PRを工夫願いたい。
- ◇平常展の目標入館者数1万4千人は、高すぎないか。
 - 学校教育の利用促進を図るため、機会を捉え、学校関係者への働きかけを行っている。
 - 入館者増を図るため、カルチャーゾーン連絡協議会によるスタンプラリーを秋に実施する。

- ◇今年度作成した映像記録をホームページから取り込み、学校の授業で見て、本物を見たいという生徒をうまく取り込むように。
 - 1タイトルに付き、一般用、学校用、字幕版の3種の映像を県立博物館のホームページに公開した。
 - 今年度末を目途に県立図書館のデジタル岡山大百科に登録し、視聴機会の増加を図る。

- ◇キャプションも、一部について英語・中国語などの外国語の表記がされており、後楽園からの客をもっと呼び込むようにできるのでは。
- ◇県立博物館は、後楽園の角にあり一般の人に浸透していない。平常展にも来てもらうように、口コミで知ってもらうことが大切。
- ◇後楽園とタイアップし、策を練って博物館にも目を向けてもらえるように。
 - 後楽園とのタイアップ企画として、4月28日の栄西茶会に合わせた特別展「栄西」の開催した。
 - 平常展において後楽園関係資料の展示を随時行っている。

岡山県立博物館協議会委員

任期2年（平成25年2月5日～平成27年2月4日）

平成25年7月現在

番号	氏名	区分	現職	就任年月	備考
1	小森 順子	学校教育関係者	岡山市立石井小学校長	H23. 7	
2	市 坡 よし子	"	倉敷市立玉島西中学校長	H24. 7	
3	松 下 晶 子	"	岡山県立笠岡高等学校長	H25. 7	新 任
4	丸 池 宣 子	社会教育関係者	岡山県婦人協議会副会長	H25. 2	
5	岡 本 啓	"	岡山県生涯学習センター所長	H25. 7	新 任
6	延 江 典 子	"	岡山県青年団協議会副会長	H25. 2	
7	宇 野 均 恵	家庭教育関係者	NPO法人子ども劇場笠岡センター理事長	H21. 2	
8	長 江 真理子	"	NPO法人みる・あそぶ・そだつ津山子ども広場 代表理事	H21. 2	
9	岡 本 隆 明	学識経験者	(株) 山方永寿堂代表取締役社長	H23. 2	
10	藤 實 久美子	"	ノートルダム清心女子大学文学部 現代社会学科准教授	H23. 2	
11	松 木 武 彦	"	岡山大学大学院社会文化科学研究科教授	H25. 2	
12	吉 本 正 志 (号) 正	"	日本工芸会中国支部副幹事長	H23. 2	
13	高 谷 万知子	"	山陽放送(株) 編成業務局メディア企画部参事	H17. 2	
14	江 見 肇	"	(株) 山陽新聞社編集局文化部長	H19.10	
15	原 田 唯 良	"	岡山県議会議員	H24. 7	

岡山県立博物館協議会条例

〔昭和46年6月25日〕
〔岡山県条例第47号〕

(設置)

第1条 岡山県立博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、岡山県立博物館に岡山県立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(委員の任命の基準)

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

(委員の定数)

第3条 委員の定数は、20人以内とする。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(その他)

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和46年7月1日から施行する。

2 (略)

岡山県立博物館協議会運営規則

〔昭和46年7月1日〕
〔岡山県教育委員会規則第13号〕

(趣旨)

第1条 この規則は、岡山県立博物館協議会条例（昭和46年岡山県条例第47号）第5条の規定に基づき、岡山県立博物館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 協議会の会議（以下「会議」という。）に、議長及び副議長を置く。

2 議長及び副議長は、岡山県立博物館協議会の委員（以下「委員」という。）の互選により定める。

3 議長及び副議長の任期は、委員としての在任期間とする。

4 議長は、会議を主宰する。議長に事故のあるときは、副議長がその職務を代行する。

(招集)

第3条 会議は、岡山県立博物館長が招集する。

2 会議の招集は、会議開催の場所、日時及び会議に付すべき案件をあらかじめ各委員に通知して行なう。ただし、緊急の場合は、この限りでない。

(定足数及び表決)

第4条 会議は、委員の過半数以上が出席しなければ開くことができない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(職員の説明及び資料の提出)

第5条 委員は、会議において関係職員に対して、説明又は資料の提出を求めることができる。

(職員の出席)

第6条 関係職員は、会議に出席して意見を述べるができる。

(その他)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は協議会が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、公布の日から施行する。

職 員 一 覧

教育委員会事務局

職 名	氏 名	備 考
文化財課長	谷 名 隆 治	平成25年4月～

岡山県立博物館職員

職 名	氏 名	備 考	
館 長	田 村 啓 介		
副 館 長	三 宅 克 広	(学芸課長事務取扱) 平成25年4月～	
総 括 参 事	片 山 明 浩	(総務課長事務取扱) 平成25年4月～	
総 務 課	主 任	瀧 元 弘 美	
	主 任	藤 原 雅 彦	
	主 事	清 水 美 緒	
学 芸 課	学芸員 (副参事)	信 江 啓 子	
	副 参 事	竹 原 伸 之	
	主 任	内 池 英 樹	平成25年4月～
	学芸員 (主任)	佐 藤 寛 介	
	学芸員 (主任)	重 根 弘 和	平成24年4月～
	学芸員 (主任)	和 田 剛	